



かわさきチャレンジ・3R ニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



かわさき3R推進キャラクター
かわるん

第29号

平成27年11月発行

一般廃棄物処理基本計画の改定に向けて環境審議会から答申がありました

一般廃棄物処理基本計画の計画期間が平成27年度までになっていることから、平成28年度を始期とする新たな基本計画の策定に向けて、平成26年4月に環境審議会に諮問した「川崎市一般廃棄物処理基本計画の改定の考え方」について答申が行われましたので、お知らせします。

今後、この答申を踏まえ、市の計画(案)を策定し、12月頃にパブリックコメントを実施し、来年3月に新たな基本計画を策定する予定です。

市の計画(案)について市民説明会を開催します。是非、ご参加ください。(事前申込不要)

【1回目】12月26日(土) 10時00分～11時30分 高津市民館 第5会議室

【2回目】1月15日(金) 18時30分～20時00分 産業振興会館 第3研修室

答申の内容(一般廃棄物処理基本計画の改定の考え方について)

計画期間: 平成28～37年度(10年間)

基本理念: 地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして

基本方針: ●社会状況の変化等に的確に対応し、限りなくごみをつくらない社会を実現する

●市民・事業者・行政の協働により“エコ暮らし”を実践し、さらに3Rを推進する

●安心して健康に暮らせる快適な生活環境を守る

目標: ●1人1日あたりのごみ排出量*を10年間で10%削減する

(998g(H26実績)⇒898g) ※家庭系・事業系(焼却ごみ+資源物)

●ごみ焼却量を4万トン削減する(37万トン(H26実績)⇒33万トン)
(家庭系2万トン削減、事業系2万トン削減)

⇒○3Rを基調としながら、2R(ごみの発生抑制・再使用)に重点を置いた目標の設定

○目標達成による市民・事業者のメリット等の取組成果・効果の「見える化」・「見せる化」

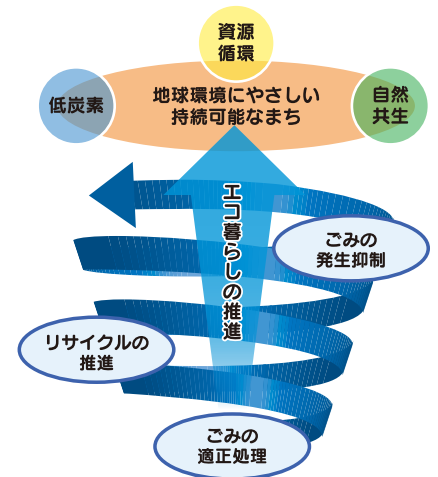
基本施策: ●「環境市民」をめざした取組

●ごみの減量化・資源化に向けた取組

●廃棄物処理体制の確立に向けた取組

●健康的で快適な生活環境づくりの取組

●低炭素社会・自然共生社会をめざした取組



し尿等処理や行動計画の内容など
詳細はこちらをご覧ください

～ 市ホームページで閲覧できます ～

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000071886.html>

問い合わせ: 環境局廃棄物政策担当 電話044-200-2564